

酒々井小学校の電車通学について

突然のご連絡で申し訳ございません。私は下岩橋に住む●●と申します。日頃より町民、地域のためにご尽力いただきましてありがとうございます。この度は、酒々井小学校の電車通学をスクールバス通学に変更していただきたくご連絡いたしました。

我が家には現在酒々井小学校に通学している子がおり、数年後にも酒々井小学校に就学する子がいます。子供たちの中に軽度知的障害を持った子もおり、電車が遅れて到着したり、乗り遅れてしまったり、通常と違った流れになってしまいますと、記憶能力的に臨機応変に対応する事が難しく電車に乗れなかった事がありました。

また障害に関わらず、夏は通学時間が長いため水筒1本では足りず2本持たせたり、冬は真っ暗の中登校し日が暮れた暗い中帰宅する事が多いです。

また東京学館生と通学の時間帯が被ることもあり、小学生の子たちは危ない怖い思いをした子もいます。

私自身高校時代に体調不良によりホームで倒れそのまま線路に転落し怪我をした過去があり、尚更我が子には気を付けてほしい、自分と同じ目に遭わないでほしいと思っております。

私だけでなく周囲の親御さんからもスクールバス通学の方が安心だとの多数の声があるのも事実です。

お忙しい中大変恐縮でございますが、どうか事情をおくみとりいただき対応の程、よろしくお願い申し上げます

(個人情報保護のため原文を編集させていただいています。)

■回 答

当町のスクールバスの運行は、平成16年に墨地区、馬橋地区、伊籾地区の公共バス路線廃止に伴い、この路線を利用していた児童の登下校の交通手段確保のために運行が始まったものであり、現在もこの地区に限って運行しています。また、以前から路線バスがなく、徒歩通学となっていた地区については、平成17年度以降も徒歩通学を継続していただいております。

ご質問のありました下岩橋地区については、以前より京成電鉄が運行している区間であり、登下校の交通手段がなくなった地区ではないことから、鉄道利用を継続していただいております。

なお、児童には、普段から、不審者への対応等、駅も含め、登下校中に何かあった場合の適切な行動について繰り返し指導しております。

また、学校では、電車通学している児童に対し、乗車中に車掌室に近いところ

に乗車し、何かあったらすぐに車掌に連絡するよう指導することで、児童の安全を図るようにしています。今後は、何か困ったことがあった時には、駅の職員等大人に「助けを求める指導もしていくよう、学校に依頼してまいります。

以上のことから、町教育委員会としては、今後も現状の形態によるスクールバスの運行を継続していきたいと考えているところですので、御理解賜りますようお願いいたします。

担当課《学校教育課》